

名古屋市の実施する「ガイドウェイバスへの自動運転技術導入に向けた大型自動運転バスによる実証実験」にGMPSを提供

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、愛知県名古屋市のガイドウェイバス志段味線（愛称：ゆとりーとライン）において検討されている、自動運転技術を活用した新たなシステムの導入に向けた大型自動運転バスによる実証実験に、GMPS^{※1}（磁気マーカシステム）を提供します。

今年度は、検討の一環として実施される実証実験において、大型の自動運転バスを走行させ、車両制御の精度検証が予定されています。本実験は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）」の採択を受けて実施されるものです。

【実証実験概要】

1. 実験期間

2024年2月12日（月・祝）～2月21日（水）まで

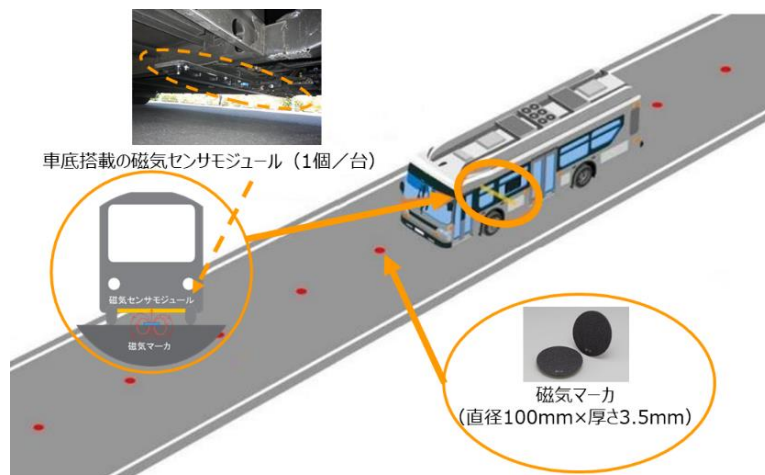
2. 実験概要

（1）実験場所：名古屋市が所管する守山南部処分場（愛知県尾張旭市）の管理通路

（2）実験内容：

ガイドウェイバス専用道（高架区間）の幅員や急カーブを部分的に再現した実験区間において、運転士が乗車した状態でハンドル操作や加減速操作をシステムにより自動走行（自動運転レベル2^{※2}）し、自動運転用センサを使用した各種誘導方式^{※3}による車両制御の精度を検証します。

当社のGMPSは、誘導方式の一つとして、上空の遮蔽物や、天候に左右されないこと等の特長により、安定かつ高精度な自車位置推定を担います。なお、実証実験区間（約600m）に約300個の磁気マーカを設置しています。



（3）実験車両：アイサテクノロジー株式会社保有の大型自動運転バス

※1 当社が開発し、商品化を進めている自動運転支援システムのこと

Global Magnetic Positioning System の略。

特設サイト：<https://www.aichi-steel.co.jp/smart/mi/gmps/index.html>

※2 システムがハンドル操作やアクセル・ブレーキ操作を実行し、緊急時は運転士が介入。運転の主体は運転士。

※3 GMPS（磁気マーカシステム）、GNSS方式、3Dマップ方式の3つの自車位置推定システムが使用される

